

定員適正化計画に基づく正規職員削減が 市民サービスの低下につながっているのでは。

—市議会2月定例会での高橋美博議員の一般質問—

定員適正化計画の目標と実績は

問 平成17年度から22年度までの第1期計画、平成23年度から27年度までの第2期計画の目標と実績は。

答 平成17年度から22年度までの6年間は一般職員の削減目標51人に対し実績は23人の減員、平成23年度から27年度までの5年間の一般職員の削減目標44名に対し、実績は現時点で11人の減員となっている。

問 新規採用を第1期は退職者の3割補充、第2期は5割補充としているが、退職者数、新規採用数はどうか。

答 17年度から23年度までの7年間の一般職、保育士、幼稚園教員合わせての退職者は171人で、新規採用職員は120人である。

問 ベテランの大量退職による経験引継ぎ、嘱託に置き換わることによる正規職員の負担増、新規採用抑制による年齢バランスの歪みなど問題が起きているが。

答 採用対象年齢を拡大した職員募集や組織機構の見直しを行い、市民サービスの低下をまねかないよう非常勤嘱託職員を含めた適切な人員配置をしている。

問 171人の退職者内訳は定年退職52人で、勸奨退職61人、自己都合52人と多く異常だ。モチベーション保持など職場環境に問題があるのではないか。

答 各人の事情がありやむを得ないと判断している。

問 職員の専門性を高めるよう人事配置に配慮を。

答 人事異動は同一部署での勤務年数5年を基本に、業務量に応じ適切な人員配置をしている。

問 全国的に非正規公務員が増加、70万人超え非正規率は33.1%となっている。本市の状況はどうか。

答 平成17年度は非常勤嘱託職員124人、臨時職員237名で、23年度は嘱託187人、臨時346人である。

問 非常勤職員の増加の要因をどう分析しているか。

答 非常勤嘱託職員は介護認定調査員や通訳、臨床心理士、保健師、栄養士に加え、権限委譲による事務量の増加によるもの。臨時職員は、緊急を要する短時間での事務処理や期間限定の事務処理、産休や育休の代替対応のための増によるものである。また、県からの権限委譲や関係機関への職員派遣、防災、福祉、教育部門などの強化のためである。

問 正規職員の数だけにとらわれず、嘱託職員、臨時職員も含めた総人件費で比較検討すべきではないか。

答 平成17年度の正規と嘱託を合わせた人件費は約23億3千万円、臨時職員の物件費は約1億9千万円で、23年度は人件費約23億2千万円、物件費約2億9千万円となっている。正規職員の削減や人勸による給与引き下げにより人件費は約1千万円の減額となった。

臨時職員の物件費は約1億円増加したが国の緊急雇用対策への対応が主な要因である。

問 臨時職員の賃金を物件費としての処理は問題だ。

答 自治法施行例で決まっているが、公表も検討する。

技術職員の配置は適正に行われているか

問 土木、建築、電気、管理栄養士、保健師、保育士、

幼稚園教員など多くの技術職員がいる。これらの専門性は市民サービス実施に欠かせないが配置方針は。

答 各所属の向こう5年間の事務事業の見込み等を調査し、適切な人員配置をしている。

問 専門職は特別に枠を設けて採用し、計画的に養成すべきではないか。

答 職種によっては年齢構成に偏りが生じているものもある。採用には年齢層のバランスも考慮しながら実施している。対象年齢の拡大や経験者を対象にした採用なども検討し、継続的、計画的採用をすすめる。

問 保育需要が増加し幼稚園教員、保育士の非常勤嘱託職員の確保が困難になっていると聞くが現状は。

答 幼稚園と保育所に非常勤嘱託職員が45名、職員の31.5%を占めている。幼稚園教員、保育士の確保が大変厳しい状況にある。HPでの年間を通じた募集やハローワーク、大学への訪問など確保に努めている。

問 安定的運営のため正規職員を増やすべきではないか。また有能な嘱託職員の継続雇用への制度改善は。

答 園児数の推移を考慮し、適切な正規職員数にしていく。嘱託職員の任用期間は1年間だが、平成22年より勤務評定制度を導入し、昇給や再任用に反映させ、優秀な人材確保に努めている。

技能労務職員退職者不補充は問題がある

問 土木の技能労務職員は直営舗装、道路の維持修繕、市民の通報による緊急修繕など直営のメリットを発揮している。また新たに河川草刈りの乗用機械のオペレーターを担う予定となっている。水道の技能労務職員は浄水場やポンプ場、配水池などの運転管理、毎日の水質検査、工事に伴う水道管の切り替え作業などの他、台風や停電時などの緊急時の対応や水道管の漏水など突発修繕工事などを行っている。これらは市民生活に密着した重要な仕事である。しかし、退職者の分を嘱託で補うなどで、技術の継承もできず問題が出ている。「退職者不補充」の方針を改めるべきでは。

答 退職者不補充として、非常勤嘱託や民間委託で対応していく。人材の育成とシステム構築で市民サービスの低下をまねかないよう適切に対応する。

交通に支障がある磐田用水フェンスの改善

問 市道見取向笠境線と市道見取水洗線、市道深見見取線の交差点は、磐田用水の転落防止フェンスで見通しが悪く、事故が心配される。改善ができないか。

答 水路を金網で覆うような形状にすれば視界が良好となることから、施設管理者の磐田用水東部土地改良区と協議していく。

ホームページ <http://www.yoshihiro-takahashi.net>

ブログ「高橋美博の東奔西走」更新中

日本共産党袋井市議団ニュース

2013年 3月 15日 発行

高橋美博 大谷 48-6100 浅田二郎 浅羽 23-2272